



平成25年10月9日

各 位

会社名 株式会社ライフフーズ
代表者 代表取締役社長 大平 毅
(コード番号: 3065)
問合せ先 管理本部・広報室長 新家 祥孝
(TEL. 06-6338-8331)

特別損失の発生並びに平成26年2月期第2四半期累計期間業績予想の修正
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり、特別損失（減損損失）が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成26年2月期(平成25年3月1日～平成26年2月28日)の第2四半期累計期間業績予想及び通期業績予想を修正いたします。

記

1 特別損失（減損損失）の発生及びその内容

(1) 減損損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する固定資産のうち4店舗の減損損失56百万円を計上することいたしました。

(2) 今後の見通し

上記減損損失の業績に与える影響につきましては、本紙「3 平成26年2月期通期業績予想の修正」に織り込み済みであります。

2 平成26年2月期第2四半期累計期間業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	6,357	194	219	40	2 27
今回修正 (B)	6,294	237	264	103	5 96
増減額 (B-A)	△63	42	44	62	—
増減率 (%)	△1.0	22.0	20.0	153.0	—
(ご参考)前年同期実績 (平成25年2月期第2四半期)	6,186	264	284	100	5 47

(2) 修正の理由

- ①売上高は、前回予想に対し63百万円減少の62億94百万円となる見込みであります。これは、新規出店の予算が4店舗に対して実績は1店舗となったことが主な要因であります。純既存店売上高前年同期比は前回予想99.8%に対し100.4%となったことが増加要因であります。新規出店できなかった店舗の予算売上高を補えませんでした。
- ②営業利益及び経常利益は、前回予想に対し営業利益は42百万円増加の237百万円、経常利益は44百万円増加の264百万円となる見込みであります。販管費等の削減などコスト削減に取り組み、純既存店売上高が計画を上回ったことによる営業利益及び経常利益の増加が主な要因であります。
- ③四半期純利益は、前回予想に対し62百万円増加の103百万円となる見込みであります。これは、特別利益である受取補償金の増加が主な要因であります。

3 平成26年2月期通期業績予想の修正

(1) 通期（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	12,557	324	375	72	4 04
今回修正 (B)	12,493	367	419	134	7 80
増減額 (B-A)	△63	42	44	62	—
増減率 (%)	△0.5	13.2	11.8	86.0	—
(ご参考)前年同期実績 (平成25年2月期)	12,089	344	390	134	7 50

(2) 修正の理由

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ平成26年2月期第2四半期累計期間業績予想の修正の増減額（本紙「2 平成26年2月期第2四半期累計期間業績予想の修正」参照）を反映いたしました。